

SOCIAL

人財育成のために

関連する
主なSDGs



変化が激しく、先行きも不確実で複雑な時代において、困難を乗り越え、力強く未来を切り開く人財を育成することが急務となっています。当社の人財育成に対する考え方は「フジタが求める人財像」に基づいており、これらを実現するための「人財育成体系」は「場を与えるOJT」をベースとしながら、OFF・JTに必要なビジネス能力の習得や、専門技術力のさらなるレベルアップを図るさまざまな研修を組み合わせ実施しています。また、社員のキャリア形成のため計画的に複数のキャリア（職務・職場）を経験させると共に、自律的キャリア形成を支援する「キャリア申告制度」を設け本人の将来目標を確認し、実現に向けたフォローを行なっています。

人財開発イメージ



2024年度人財育成に関する研修実績(全体)

延べ受講者数	6,932人
延べ研修時間	85,732時間
総研修費用	662,285千円
一人あたりの研修時間	12.37時間
一人あたりの研修費用	95,540円

人財開発・育成に向けて

当社では、従業員の実務能力アップと判断力の養成を目的として、社内外の講師による研修「圧倒的教育」を行なっています。2024年度は各職種の研修企画・設計、実施、結果の検証を一元的に管理するために、研修情報一元化システムを構築しました。また、アクティブラーニング型の研修を充実させ、従来の座学研修から、受講生主体の能動的な研修を実施しています。2024年度は建築・土木の作業所長を対象に、作業所長としての職務を全うするための、知識・意識・行動をブラッシュアップすることを目的として「作業所長研鑽会」を実施しました。本研修は集合形式で建築・土木別に全18回実施し、284名が参加しました。



作業所長研修

各種教育の実施

リカレント・リスキリング

デジタル化や外部環境の急激な変化に応じて、個人に求められるスキルも多様化しています。当社は、希望する従業員がいつでも自由に学び直しができる「リスキリング・リカレントプログラム」を提供しています。また、これらのプログラムを各研修と組み合わせることで、自発的な学習への意欲向上と自律的なキャリア構築といった一人ひとりの意識向上も期待しています。

主なプログラム

- 学びライブラリー
- DXオンライン学習講座
- 英語オンライン学習講座

環境教育

当社では、環境問題に関する基礎知識を身につける手段として「環境社会検定試験(eco検定)®」の受験を推進し、全社で環境リテラシーの向上に取り組んでいます。2024年度は取得率目標75%に対し83.5%を達成し、東京商工会議所主催「eco検定合格者数ランキング2024」で3年連続上位に選定されました。全従業員を対象とした一般教育では、2024年度は環境戦略や再生可能エネルギー導入の背景をテーマにe-ラーニングを実施しました。また、階層別教育では、環境関連法令遵守や環境事故防止について動画を交えた講座や、環境目標の達成に向けた教育を年間通し対面で実施しています。専門教育では、技術伝承や最新情報を伝えるフジタ建設大学において、専門知識を有する社員による総合教育講座を提供しています。

注) 環境社会検定試験(eco検定)®は東京商工会議所の登録商標です。

そのほかの各種教育

- ▶ P28 従業員に対する健康教育
- ▶ P30 従業員教育・職長・安全衛生責任者教育・事業主教育
- ▶ P43 ハラスメント防止・人権意識の向上に向けて
- ▶ P43 従業員研修・啓蒙の実施(コンプライアンス)